

学 報

復刊第1号 昭和36年4月21日

お茶の水女子大学 庶務課 発行

目 次

人 事	1, 2
学 事	2
通 知	2, 3
日 誌(抄)	4

人 事

○人事異動 36. 3. 31~4. 15

◎昭和36年3月31日 (学内発令)

文部事務官(庶務課) 田中 兵治
 用 務 員(会計課) 田代義太郎
 文部教官(付属高等学校教諭)
 新村 泰子
 事 務 員(付属高校) 佐藤恵美子
 文部教官(付属中学校教諭)
 竹内かづえ
 用 務 員(付属幼稚園) 矢沢 裕子
 文部教官(助手理学部) 平野 茅子

辞職を承認する

◎昭和36年4月1日 (文部省発令)

文部教官(教授文教育学部)
 森 悌次郎

文部教官(教授文教育学部)

赤木 健

昭和36年3月31日限り停年により退職した

◎昭和36年4月1日

文部事務官(文部省大臣官房会計課)

青木 隠司

お茶の水女子大学会計課長に昇任させる

文部事務官(会計課長) 石塚竜之進

文部省大臣官房会計課課長補佐(貸財班主査)に配置換する

お茶の水女子大学施設課長の併任を解除する

文部事務官(事務局長) 町田 稲尾

お茶の水女子大学施設課長事務取扱を命ずる

文部教官(教授家政学部) 谷田 関次

お茶の水女子大学家政学部長に併任する

任期は昭和38年3月31日までとする

(学内発令)

岩坂 和美

技能員(会計課)に採用する

野上 睦子

文部教官(付属高等学校教諭)に採用する

田村キミエ

技能員(付属高等学校)に採用する

石田 光子

文部教官(付属中学校教諭)に採用する

斎藤 うめ

用務員(付属幼稚園)に採用する

小山 敏子

文部教官(助手理学部)に採用する

技能員(庶務課) 丸 栄子

事務員(庶務課)に配置換する

文部教官(助手理学部) 門間 芳子
人事院規則11~4 第3条第1項第1号の規定
により休職とする

休職の期間は昭和37年3月31日までとする

文部教官(助手理学部) 島 正子
休職の期間を昭和36年9月30日まで更新す
る

◎昭和36年4月15日

石井 治夫

事務員(庶務課)に採用する

○学科主任

◎昭和36年4月1日

教授 下瀬 恒人

物理学科主任を免ずる

教授 阿阪 三郎

物理学科主任を命ずる

教授 内海誓一郎

化学科主任を免ずる

教授 立花 太郎

化学科主任を命ずる

教授 鍋島 能弘

幼稚園教員臨時養成課程主任を免ずる

教授 中村 一良

幼稚園教員臨時養成課程主任を命ずる

学 事

○昭和36年度新入学者

文教育学部

哲 学 科 12名 史 学 科 15名

文学科(国文) 26名 文学科(中文) 8名

文学科(英文) 20名 教育学科(教育) 21名

教育学科(体育) 14名 教育学科(音楽) 12名

地理学科 13名 以上 141名

理 学 部

数 学 科 20名 物理学科 20名

生物学科(動物) 8名 生物学科(植物) 9名

化 学 科 17名 以上 74名

家 政 学 部

児童学科 17名 食物学科 20名

被服学科 17名 以上 54名

幼稚園教員臨時養成課程 24名

専攻科入学者

文教育学部 11名 理 学 部 3名

家 政 学 部 5名 以上 19名

編入学者

文教育学部 1名

家 政 学 部 3名 以上 4名

学士入学者

文教育学部 2名 理 学 部 1名

通 知

○昭和36年度イタリア政府奨学金
留学生募集要項

○募集人員 10名

○専攻分野

科学(人文、社会、自然)および芸術
(美術、音楽等)。

○給費期間

1961年11月から1962年6月までの8

カ月間

○奨学金

滞在費

月額60,000リラ（邦貨約34800円）

健康保険費

15,000リラ（邦貨約8700円）

授業料，書籍代等

60,000リラ

○往復旅費

日本，イタリア間の往復旅費は支給されない。

○出願資格

日本人で二重国籍を持たない者。

年令35才未満の者（大正15年5月9日以後出生の者）旧制または新制の大学を卒業した者。ただし芸術を専攻する者は学歴を問わない。

イタリアの大学，研究所，学校等で学習，研究するに足るじゅうぶんなイタリア語，英語，フランス語のうちの1または，それ以上の語学に堪能な者。ただしイタリア文学，イタリア語，イタリア歴史等のイタリア語の知識を必要とする分野を専攻する者は，イタリア語に堪能でなければならない。

心身ともに健全な者

○願書受付期限

昭和36年5月8日

出願手続その他詳細については，庶務課庶務係にお問い合わせください。

○火災報知機設置について

このたび本学構内の火災報知装置第1期工事が完成し別函（別に配布）の箇所に設置されました。出火時の報知要領は下記の通りですから充分ご了承の上，その措置に遺憾のないようご協力願います。

なお，第2期工事（構内寄舎舎方面）については36年度着工の予定です。

記

1. 火災報知要領

出火を発見したら直ちに火災地点最寄りの火災報知機の押しボタンカバーを親指で押し破り，中の押しボタンを押す。

（報知動作の確認灯が点灯する）

2. 火災報知動作の経路

①火災報知機の押ボタンを押すと本部（正門門衛所）受信機の受信ベルが鳴ると同時に該当位置表示灯が点灯する。

②同時に門衛所にある火災報知機（消防署通報用）が自動的に作動して小石川消防署に通報する。

③当番守衛は本部備え付けのサイレンを鳴らして学内一般に通報する。

3. 以上のような仕組みになっていますから，出火でない時に報知機のボタンに触れないよう特にご注意ください。

○電話番号一部変更

4月1日から下記のように電話番号の一部が変りました。

(交換時間外)	(新)	(旧)
汽かん室	0140	5121
大学宿直室	0141	0141
"	0142	0142
小使室	0143	0143
守衛室	0144	0144
図書館	0145	5915
高等学校	0146	5123
中学校	0147	6124
小学校	0148	6122
幼稚園	0149	6121

日誌(抄)

4月4日 学寮協議会，寮務委員会

4月6日 課長会議

付属学校運営委員会

ゴルドン博士来学

4月7日 部局長会議

入学許可者の健康診断

4月8日 付属高等学校・中学校及び小

学校の入学式

教授会 評議会

4月10日 学生会館開館

付属幼稚園入園式

4月11日 大学入学式

4月13日 大学授業開始

4月14日 パキスタン，キシルバッシュ
氏来学

4月19日 教授会
学生部長選挙
平井教授当選

○人事異動補遺

◎昭和36年3月31日 (文部省発令)

文部教官(教授文教育学部)

坂元彦太郎

お茶の水女子大学文教育学部付属幼稚園長
に併任する

任期は昭和37年3月30日までとする

◎昭和36年4月1日 (学内発令)

技能員(施設課)

鈴木長寿

技術員(施設課)に配置換する